



呉市は、「2050年 ゼロカーボンシティ」を表明しました

1 概要

令和5年3月8日策定の「第3次呉市環境基本計画」（以下「本計画」といいます）において、呉市は、「2050年の温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す」ことを表明しました。

本計画における基本方針の1つとして、「気候変動への対応」を掲げ、温室効果ガスの排出量を2050年には実質ゼロを目指すこととしています。

今後、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、市民・事業者・市役所が一体となって取り組んでいきます。

・ゼロカーボンシティとは

環境省では、「2050年に二酸化炭素（温室効果ガス）排出量を実質ゼロにすることを旨とする首長自らが又は地方自治体として公表した自治体」をゼロカーボンシティとしています。

・実質ゼロとは

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」*から、植林、森林管理などによる「吸収量」*を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味します。

*ここでの「排出量」「吸収量」とは、いずれも人為的なものを指します。

2 表明日

令和5年3月8日

3 表明の状況（令和5年2月28日時点）

全国：871自治体（45都道府県，510市，21特別区，252町，43村）

広島県内：9自治体（尾道市，広島市，広島県，大崎上島町，東広島市，三原市，廿日市市，北広島町，福山市）（表明順）